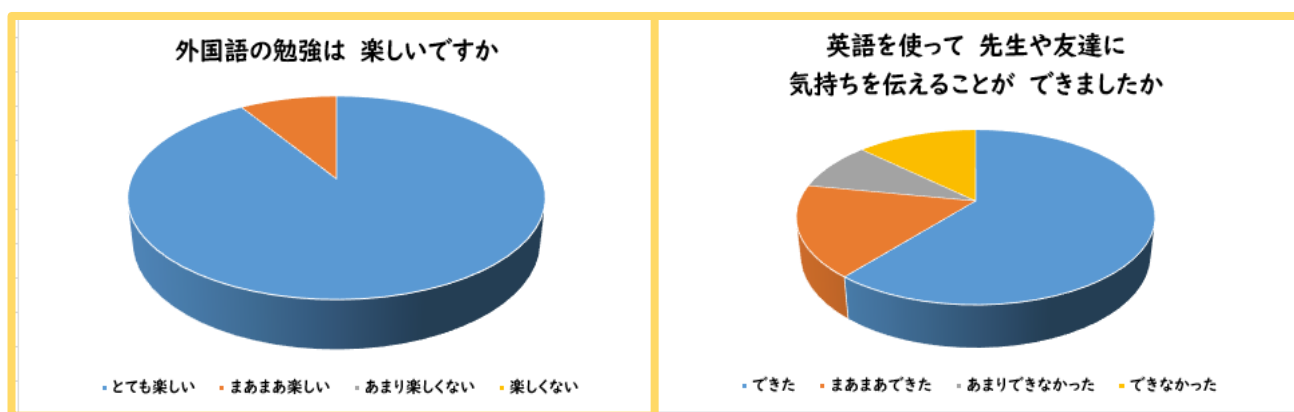


特別の教育課程編成（坂小学校第1・2学年「外国語活動」）の実施状況等について

1 自己評価結果

令和5年度に、1・2年生の児童にアンケートを行ったところ、「外国語の勉強は楽しいですか」という質問に対し、すべての児童が「とても楽しい」または「まあまあ楽しい」と回答した。また、「英語を使って、先生や友達に気持ちを伝えることができましたか」という質問に、「できた」「まあまあできた」と回答した児童が約8割いた。「あまりできなかった」「できなかった」と回答した児童はいずれも2年生であり、使用する英語の表現の難易度が少し上がったからだと考えられる。どちらの質問に対しても、多くの児童が肯定的に答えており、児童にとって外国語の学習は、抵抗感がなく、楽しいものとなっていることが分かる。友達や先生との外国語でのコミュニケーションを充実させるよう授業内容が計画されており、低学年のうちから、外国語に触れるよい機会となった。



2 学校関係者評価結果

本校は、三島市内に居住していれば坂小学校に入学できる「小規模特認校」に認定されている。特別の教育課程を編成し、1・2年生から外国語活動を実施していることに魅力を感じ、毎年この制度を利用して入学する児童がいる。年度末に行われた学校運営協議会でも1・2年生の外国語活動について議題に挙がり、児童も活動を楽しみにしていることから、続けてほしいとの見解をいただいた。

3 まとめ

児童に行ったアンケート結果から、外国語活動を楽しみにしていることが分かる。1・2年生のうちから楽しみながら外国語に触れる機会を多く設けることで、外国語に対する不安や苦手意識を感じることなく、学ぶことができていると考えられる。今後は、特別な教育課程編成で学んだ1・2年生児童の経験を、3・4年生での外国語活動、5・6年生の外国語科の学習に効果的につなげていくことが課題となってくる。児童のリフレクション活動を大切にして学習状況等の把握に努めながら、年間授業計画の作成や授業改善に取り組むことに力を注いでいきたい。